

四半期報告書

(第67期第1四半期)

自 平成25年4月1日

至 平成25年6月30日

エステー株式会社

(E01019)

目 次

頁

表 紙

第一部 企業情報

第1 企業の概況

- 1 主要な経営指標等の推移 1
- 2 事業の内容 1

第2 事業の状況

- 1 事業等のリスク 2
- 2 経営上の重要な契約等 2
- 3 財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析 2

第3 提出会社の状況

1 株式等の状況

- (1) 株式の総数等 4
- (2) 新株予約権等の状況 4
- (3) 行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等 4
- (4) ライツプランの内容 4
- (5) 発行済株式総数、資本金等の推移 4
- (6) 大株主の状況 4
- (7) 議決権の状況 5

2 役員の状況 5

第4 経理の状況 6

1 四半期連結財務諸表

- (1) 四半期連結貸借対照表 7
- (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 9

四半期連結損益計算書

- 第1 四半期連結累計期間 9

四半期連結包括利益計算書

- 第1 四半期連結累計期間 10

2 その他 13

第二部 提出会社の保証会社等の情報 14

[四半期レビュー報告書]

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月13日
【四半期会計期間】	第67期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	エステー株式会社
【英訳名】	S. T. CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表執行役社長 鈴木 貴子
【本店の所在の場所】	東京都新宿区下落合一丁目4番10号
【電話番号】	(03) 3367局6111（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役兼常務執行役 経営戦略部門担当 嶋田 洋秀
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区下落合一丁目4番10号
【電話番号】	(03) 3367局6314
【事務連絡者氏名】	取締役兼常務執行役 経営戦略部門担当 嶋田 洋秀
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第66期 第1四半期連結 累計期間	第67期 第1四半期連結 累計期間	第66期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高（千円）	10,120,185	9,426,280	46,943,918
経常利益（千円）	504,295	189,800	1,141,493
四半期（当期）純利益（千円）	333,982	155,774	564,928
四半期包括利益又は包括利益 （千円）	461,391	270,069	1,025,972
純資産額（千円）	19,926,476	20,237,494	20,213,416
総資産額（千円）	28,770,215	28,349,380	30,076,407
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	15.38	7.17	26.01
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	—	7.17	—
自己資本比率（%）	67.4	69.6	65.4

- （注） 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 第66期第1四半期連結累計期間及び第66期の潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

なお、主要な関係会社の異動といたしましては、当第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であったエスターコアコーポレーション（韓国）は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済・金融政策による円安・株高に伴い、企業収益や消費動向も緩やかに回復の兆しがみえてまいりました。しかしながら、中国をはじめとする新興国経済の減速と為替や株式市場の変動の影響により、不透明な状況が続いております。

こうした状況の中、当社グループは「3G（Growth・Global・Group）の実現」をテーマに掲げ、高収益体制の確立、経営改革活動STR（エステー・リフォーメーション）の全社展開、グローバル対応の強化に取り組んでまいりましたが、当第1四半期連結累計期間の売上高は、94億26百万円（前年同期比6.9%減）となりました。

また、引き続き製造コストや販売費及び一般管理費の削減に取り組みましたが、売上が伸び悩んだこともあり、営業利益82百万円（同82.3%減）、経常利益1億89百万円（同62.4%減）、四半期純利益1億55百万円（同53.4%減）となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

『防虫・衛生関連事業』の売上高は、26億49百万円（同13.3%減）となりました。

衣類ケア（防虫剤）部門は、春先の気温上昇により3月の売上が大きく伸長したこともあり、「かおりムシューダ1年用」等の売上が伸長したものの、その他の製品の売上が低迷した結果、前年同期比で減収となりました。

ハンドケア（手袋）部門は、ニトリルゴム手袋や中厚ビニール手袋等を中心に売上が伸長しましたが、その他の製品の売上が低迷し、前年同期比で減収となりました。

サーモケア（カイロ）部門につきましては、昨年末の寒波等の影響で売上を伸ばしたくつ下用などの足回り品を中心に、シーズン終了後の返品が増加しました。

『家庭環境関連事業』の売上高は、67億76百万円（同4.1%減）となりました。

エアケア（消臭芳香剤）部門は、「消臭力」ブランドの春の新製品を中心に売上が伸長しましたが、その他の製品の売上が低迷し、前年同期比で減収となりました。

湿気ケア（除湿剤）部門は、低価格競争が激化する中、「ドライペットスキット」等の売上が低迷したため、前年同期比で減収となりました。

ホームケア（その他）部門は、お米の虫よけ「米唐番」等の売上が伸長しましたが、家庭用放射線測定器「エアカウンター」の売上が一段落したこともあり、前年同期比で減収となりました。

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して17億27百万円減少し、283億49百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少14億67百万円、受取手形及び売掛金の減少9億2百万円、商品及び製品の増加1億40百万円であります。

負債は、前連結会計年度末と比較して17億51百万円減少し、81億11百万円となりました。主な要因は、未払金の減少9億46百万円、支払手形及び買掛金の減少5億7百万円、未払法人税等の減少2億20百万円、未払費用の減少2億13百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して24百万円増加し、202億37百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の減少34百万円、その他有価証券評価差額金の増加25百万円、為替換算調整勘定の増加58百万円であります。以上の結果、自己資本は197億20百万円、自己資本比率は前連結会計年度末と比較して4.2ポイント増加し、69.6%となりました。

(2) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は、1億33百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

①【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	96,817,000
計	96,817,000

②【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	23,000,000	23,000,000	東京証券取引所 (市場第一部)	権利内容に何ら限定の ない当社における標準 となる株式 単元株式数 100株
計	23,000,000	23,000,000	—	—

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	—	23,000,000	—	7,065,500	—	7,067,815

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	（自己保有株式） 普通株式 1,145,000	—	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
	（相互保有株式） 普通株式 541,000	—	同上
完全議決権株式（その他）	普通株式 21,282,000	212,820	同上
単元未満株式	普通株式 32,000	—	同上
発行済株式総数	23,000,000	—	—
総株主の議決権	—	212,820	—

② 【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数（株）	他人名義所有株式数（株）	所有株式数の合計（株）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（%）
（自己保有株式） エステー株式会社	東京都新宿区下落合一丁目4番10号	1,145,000	—	1,145,000	4.98
（相互保有株式） フマキラー株式会社	東京都千代田区神田美倉町11番地	541,000	—	541,000	2.35
計	—	1,686,000	—	1,686,000	7.33

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,692,561	3,225,431
受取手形及び売掛金	4,791,675	3,889,338
有価証券	85,300	82,320
商品及び製品	4,631,571	4,772,470
仕掛品	164,707	205,263
原材料及び貯蔵品	395,689	440,821
繰延税金資産	362,581	384,362
その他	422,963	734,050
貸倒引当金	△14,505	△11,313
流動資産合計	15,532,544	13,722,744
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,899,786	2,860,777
機械装置及び運搬具（純額）	881,189	859,711
工具、器具及び備品（純額）	316,755	281,098
土地	3,253,627	3,259,503
リース資産（純額）	82,371	92,590
建設仮勘定	90,354	135,497
有形固定資産合計	7,524,084	7,489,180
無形固定資産		
166,650		178,292
投資その他の資産		
投資有価証券	5,203,691	5,332,919
長期貸付金	49,414	49,529
繰延税金資産	132,471	129,633
その他	1,467,550	1,447,080
投資その他の資産合計	6,853,127	6,959,163
固定資産合計	14,543,862	14,626,636
資産合計	30,076,407	28,349,380

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,625,961	4,118,748
リース債務	32,287	34,125
短期借入金	—	19,200
未払金	2,383,385	1,437,100
未払費用	506,359	292,890
未払法人税等	283,127	62,949
未払消費税等	48,857	43,484
返品調整引当金	106,200	76,600
その他	71,617	199,477
流動負債合計	8,057,797	6,284,574
固定負債		
リース債務	80,333	87,318
再評価に係る繰延税金負債	321,237	321,237
退職給付引当金	1,265,789	1,277,741
役員退職慰労引当金	137,833	139,508
その他	—	1,505
固定負債合計	1,805,194	1,827,311
負債合計	9,862,991	8,111,886
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,065,500	7,065,500
資本剰余金	7,067,815	7,067,815
利益剰余金	7,661,721	7,627,169
自己株式	△1,786,894	△1,787,009
株主資本合計	20,008,142	19,973,475
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	647,765	673,733
土地再評価差額金	△524,169	△524,169
為替換算調整勘定	△460,618	△402,382
その他の包括利益累計額合計	△337,022	△252,819
新株予約権	108,518	88,805
少数株主持分	433,777	428,032
純資産合計	20,213,416	20,237,494
負債純資産合計	30,076,407	28,349,380

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	10,120,185	9,426,280
売上原価	5,335,858	5,029,024
売上総利益	4,784,326	4,397,255
返品調整引当金戻入差額	19,800	29,600
差引売上総利益	4,804,126	4,426,855
販売費及び一般管理費	4,336,716	4,344,054
営業利益	467,410	82,800
営業外収益		
受取利息	2,011	2,134
受取配当金	17,510	18,191
仕入割引	50,321	47,528
持分法による投資利益	147,059	208,233
受取手数料	965	941
貸倒引当金戻入額	2,355	3,846
その他	37,310	29,274
営業外収益合計	257,533	310,150
営業外費用		
支払利息	—	89
売上割引	196,578	185,327
その他	24,069	17,733
営業外費用合計	220,648	203,151
経常利益	504,295	189,800
特別利益		
新株予約権戻入益	—	21,900
特別利益合計	—	21,900
特別損失		
固定資産除売却損	506	16,005
投資有価証券売却損	6,601	—
投資有価証券評価損	61,560	4,509
特別損失合計	68,667	20,514
税金等調整前四半期純利益	435,627	191,185
法人税、住民税及び事業税	67,787	62,070
法人税等調整額	22,886	△22,577
法人税等合計	90,674	39,492
少数株主損益調整前四半期純利益	344,953	151,692
少数株主利益又は少数株主損失(△)	10,971	△4,081
四半期純利益	333,982	155,774

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	344,953	151,692
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	56,546	14,407
為替換算調整勘定	67,920	82,413
持分法適用会社に対する持分相当額	△8,030	21,555
その他の包括利益合計	116,437	118,376
四半期包括利益	461,391	270,069
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	419,934	239,978
少数株主に係る四半期包括利益	41,456	30,090

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

連結の範囲の重要な変更

当第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であったエステー코리아コーポレーション（韓国）は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結貸借対照表関係)

受取手形（輸出手形）割引高

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形（輸出手形）割引高	103,900千円	91,381千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
減価償却費	166,188千円	196,647千円

(株主資本等関係)

I 前第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月21日 取締役会	普通株式	240,428	11	平成24年3月31日	平成24年6月1日	利益剰余金

II 当第1四半期連結累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月20日 取締役会	普通株式	240,404	11	平成25年3月31日	平成25年5月31日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計(千円)
	防虫・衛生関連事業 (千円)	家庭環境関連事業 (千円)	
売上高			
外部顧客への売上高	3,056,814	7,063,371	10,120,185
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	3,056,814	7,063,371	10,120,185
セグメント利益	204,052	263,358	467,410

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント		合計(千円)
	防虫・衛生関連事業 (千円)	家庭環境関連事業 (千円)	
売上高			
外部顧客への売上高	2,649,683	6,776,596	9,426,280
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	2,649,683	6,776,596	9,426,280
セグメント利益又は損失(△)	△54,911	137,712	82,800

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	15円38銭	7円17銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	333,982	155,774
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	333,982	155,774
普通株式の期中平均株式数(千株)	21,718	21,715
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	—	7円17銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(千株)	—	0
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成25年5月20日開催の取締役会において、次のとおり剰余金の配当を行うことを決議いたしました。

(イ) 配当金の総額・・・・・・・・・・240,404千円

(ロ) 1株当たりの金額・・・・・・・・・・11円00銭

(ハ) 支払請求の効力発生日及び支払開始日・・・・平成25年5月31日

(注) 平成25年3月31日現在の株主名簿に記載又は記録された株主に対し、支払を行っております。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年8月13日

エステー株式会社

取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 千葉 彰 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 植村 文雄 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 佐藤 武男 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているエステー株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、エステー株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。